

ハボタンの種まき

秋の花壇に欠かせないハボタンは7月が種まき時です。丸葉系、ちりめん系、切れ葉系などあり、それぞれに花壇向き、切り花向き、色は白、赤、ピンクなど多様に出回っています。

【種まきの時期・方法】

7月中旬までに種まきします(プラグトレイ、土などはパンジーに準じますが、種を冷蔵庫で保管する必要はありません。)

【発芽～育苗の管理】

発芽後、2～3週間で7.5cmポットに1苗ずつ移植し、3～4週間育苗した後に花壇や鉢に定植します。土は保水・排水のよい肥沃な土を用い、肥料はなるべく3要素(窒素・リン酸・カリ)が等量で持続性のあるものを与えます。ハボタンは肥料切れにより下葉が黄変・落葉しやすいので、10日に1回くらいはうすい液体肥料(1,000倍)を追肥するとよいでしょう。

【わい化剤処理】

暑い時期のため苗が伸長しやすいので、草丈の短いコンパクトな姿に仕上げるにはわい化剤を使用するのがよいでしょう。

わい化剤はBナインが一般的で、まず、種まき後5～6日目の発芽のそろった時期に250倍液を霧吹きで葉面散布し、ポット移植をして活着した10日目ころに2回目の散布(倍率は同じ)をすとかかなり伸長が抑えられます(Bナインは土が乾燥し、苗がしおれたりしていると効果が低下しますので、処理する日の昼間に十分水やりをして、夕方にBナインを散布し、その後24時間は葉に水をあてないようにします。)

【病害虫】

コナガの発生が見られます。コナガは育苗初期に予防しないと防除できません。移植時の用土にオルトラン粒剤を1ポット当たり1～2g混ぜておきます。

